

平成 2 2 年 度 事 業 報 告

自 平成 2 2 年 4 月 1 日
至 平成 2 3 年 3 月 3 1 日

一、事業内容

狩猟知識の普及、狩猟道德の向上をはかるとともに鳥獣資源の保護増殖を図り、有害鳥獣捕獲を通じて環境保全に寄与し、適正な狩猟の永続並びに、狩猟事故の絶無を期し、地域社会に貢献するため次の事業を実施した。

(一) 狩猟事故防止指導事業

1. 狩猟事故及び違反防止のため狩猟事故防止指導員 6 5 名を委嘱し、県下に配置するとともに大日本猟友会長委嘱の安全狩猟指導員 4 9 名と呼応して入猟者の指導に当たった。
2. 平成 2 2 年 1 0 月に県猟友会主催の狩猟事故防止対策協議会を開催し、県及び県警より講師を招き事故防止の講演とともに狩猟事故の発生状況の報告、事故防止・違反防止、狩猟安全パトロールの協議を行い事故防止の徹底を図った。
3. 各支部毎に地区内のパトロールを行い、狩猟事故防止・狩猟マナー向上を呼び掛け、事故防止及びマナーの向上に努めた。
4. 銃刀法改正、鳥獣保護法改正、狩猟事故防止について、地区猟友会長あてに通知し会員に徹底した。

(二) 猟鳥増殖事業

1. 群馬県日本キジ・ヤマドリ養殖組合よりヤマドリ及びキジを購入し、ヤマドリ 3 0 羽は 1 0 月・1 1 月(猟期前)、成鳥キジ 5 5 0 羽は猟期後、可猟地に放鳥した。

支部別放鳥実績

鳥 名	支部名	渋 川	沼 田	吾 妻	藤 岡	富 岡	高 崎	東 部	計
ヤマドリ	1 2 0 日令	0	0	0	7	7	1 6	0	3 0
キ ジ	成 鳥	9 2	8 8	5 5	4 2	4 0	8 4	1 4 9	5 5 0
合 計		9 2	8 8	5 5	4 9	4 7	1 0 0	1 4 9	5 8 0

2. キジ・ヤマドリの放鳥効果を高めるため、猟期においてこれら鳥類の増殖に有害なキツネ及びテン等の捕獲を奨励した。
3. 放鳥に足環を付するとともに、足環回収者に記念品を贈呈し調査の実績を高めた。
4. みどり市東町神戸 高戸山森林体験広場内市有地を借用し、平成 2 3 年 3 月 2 0 日鳥類食餌木コナラ 1 5 0 本、クヌギ 1 5 0 本の実のなる木植栽事業を実施し、現地に『野鳥の森』立看板を設置、野生鳥獣生息の環境整備を行った。

(三) 会報発行事業

広く県民及び会員に、狩猟及び環境保全に関する知識を高め狩猟道德の向上をはかり、当会事業の理解を求めると共に啓発を行うため次の通り会報を発行し、県市町村（出先機関を含む）、県警本部、各警察署、会員等に配布した。

1. 猟友ぐんま第52号を平成22年10月に2,500部発行。
2. 猟友だより第31号を平成23年3月に2,400部発行。

(四) 射撃部事業

会員相互間の親睦を図るとともに、銃器の取扱を習熟することによって有害鳥獣捕獲を含む狩猟事故防止・違反防止の実を上げ、地域社会への貢献につなげるため安全狩猟射撃大会を次のとおり開催した。

1. 平成22年度安全狩猟フィールド射撃大会

5月15日群馬県クレ射撃場において、平成22年度安全狩猟フィールド射撃大会を開催し、23名が参加した。

2. 平成22年度安全狩猟地区対抗射撃大会

6月13日群馬県クレ射撃場において開催し、トラップ部門60名、スキート部門51名が参加し、トラップ部門では館林邑楽猟友会、スキート部門では、邑楽猟友会が優勝した。

3. 平成22年度群馬県猟友会ライフル・スラッグ射撃大会

7月17日埼玉県長瀬総合射撃場において開催し、ライフル部門11名、スラッグ部門9名、計20名が参加した。

4. 一都八県安全狩猟ライフル・スラッグ射撃大会

平成22年9月4日静岡県西富士射撃場において、当番である山梨県猟友会により一都八県ライフル・スラッグ射撃大会が開催された。本県の成績は、ライフル部門第9位、スラッグ部門第6位、総合第7位であった。

5. 平成22年度安全狩猟クレ射撃選手権大会

群馬県クレ射撃場において、8月8日1次予選、8月28日2次予選、10月24日決勝大会を開催し、1次予選ではトラップ22名・スキート27名、2次予選ではトラップ13名・スキート6名、決勝大会では1・2次予選で選抜されたトラップ25名・スキート17名が参加した。

優勝者の氏名は群馬県クレ射撃場に選手権者として掲示された。

6. 第5回安全狩猟関東山静ブロック射撃大会

平成22年9月18日群馬県クレ射撃場において晴天の中、当番県である本県により第5回安全狩猟関東山静ブロック射撃大会が開催され、一都七県猟友会関係者約200名弱（内選手42名）が参加した。

(五) 猟犬部事業

狩猟事故防止の一環として、猟犬の改善普及及び会員相互の親睦をはかるため、競技会等を次のとおり開催した。

1. 獣猟犬訓練会

平成22年10月3日渋川市上白井地区内において実施。9名で12頭が参加し、17名が見学した。

2. 実猟犬猟野競技会

平成23年3月20日藤岡市及び高崎市新町にかかる神流川河川敷において開催。若犬の部10頭、成犬の部20頭、計30頭が出犬し、若犬の部では鬼石猟友会会員、成犬の部では渋川猟友会会員の所有犬が各々優勝した。

(六) 教育宣伝事業

1. 大日本猟友会報を全会員に配布した。

2. 平成22年8月4日に当会のホームページを開設し、情報公開を行い広く群馬県猟友会の実施事業の理解を求めた。

3. 各市町村の有害鳥獣捕獲事業に協力し、農林水産業への被害を防止し、農林水産業の振興を図り地域社会に貢献している各地区猟友会が実施している有害鳥獣捕獲事業について、アンケートによる現状把握を行った。

(七) 表彰関係

1. 永年本会の役員として指導及び会の運営に尽力し、本会の発展に寄与した方の功績をたたえ特別功労として表彰した。

2. 永年地区猟友会において会員の指導及び会の運営に尽力した方の功績をたたえ表彰した。

3. 永年地区猟友会運営に尽力し役員を退任された方に感謝状を贈呈した。

(八) 群馬県証紙売捌き事業

県条例等により狩猟税等県証紙の売捌き所となっており、狩猟免許税、登録税等について県証紙の売捌きを行った。

証紙売捌き取扱手数料（県外登録者） 735, 893円

(九) 狩猟災害共済及びハンター保険事業

免許の種類	狩猟災害共済			ハンター保険		
	加 入 数	掛 金	合 計 額	加 入 数	掛 金	合 計 額
網猟・わな猟	246 名	1,500 円	369,000 円	211 名	※1,640 円	345,850 円
第 1 種 銃 猟	1,939 名	3,000 円	5,817,000 円	1,484 名	4,000 円	5,936,000 円
第 2 種 銃 猟	34 名	1,500 円	51,000 円			
網わな 1 種 2 種	—	—	—	317 名	※4,290 円	1,359,920 円
計	2,219 名	—	6,237,000 円	2,012 名	—	7,641,770 円

※加入期間により変動します

給 付	狩猟災害共済		ハンター保険	
	給付件数	給 付 金 額	給付件数	保険金支払額
平成 2 2 年度	6 件	5 5 2 , 0 0 0 円	1 4 件	8 8 1 , 6 1 6 円

(十) 狩猟免許等所持証明発行事業

狩猟登録申請書に添付する二枚目以上の狩猟免許及び被共済者証の所持証明を発行し、発行件数は 5 0 1 件であり、手数料（1 件あたり 2 0 0 円）1 0 0 , 2 0 0 円を支部運営費として交付した。 内訳は次のとおり。

支 部	狩猟免許証明		共済者証証明		計
	件数	金 額	件数	金 額	金 額
洩 川	2 4	4 , 8 0 0 円	2 4	4 , 8 0 0 円	9 , 6 0 0 円
沼 田	2	4 0 0 円	1 1 2	2 2 , 4 0 0 円	2 2 , 8 0 0 円
吾 妻	1 9	3 , 8 0 0 円	1 0 1	2 0 , 2 0 0 円	2 4 , 0 0 0 円
藤 岡	8	1 , 6 0 0 円	8	1 , 6 0 0 円	3 , 2 0 0 円
富 岡	2	4 0 0 円	2	4 0 0 円	8 0 0 円
高 崎	2 7	5 , 4 0 0 円	2 7	5 , 4 0 0 円	1 0 , 8 0 0 円
東 部	7 8	1 5 , 6 0 0 円	6 7	1 3 , 4 0 0 円	2 9 , 0 0 0 円
計	1 6 0	3 2 , 0 0 0 円	3 4 1	6 8 , 2 0 0 円	1 0 0 , 2 0 0 円

(十一) 狩猟免許更新講習及び更新申請取纏め事業

群馬県の委託を受け、県が行なう 3 年毎の狩猟免許更新申請において本年度の狩猟

免許更新予定会員 331 名に対し、期間更新年度である旨を通知するとともに狩猟免許更新申請の取纏めを行ない、狩猟免許更新講習会を 7 回実施した。

(十二) 初心者予備講習会事業

群馬県の委託を受け、県が行なう狩猟者試験の受験の便をはかり、併せて狩猟者の資質を向上するため予備講習を行なった。実績は次のとおり。

講義内容	法令、鳥獣の知識判別、銃器及び猟具の取扱等について			
受講者	第 1 回目	7 月 22 日	群馬県公社ビル 1 階東・西研修室	48 名
	第 2 回目	9 月 5 日	〃	45 名
				計 93 名

(十三) 狩猟者登録申請取りまとめ事業

群馬県の委託を受け、会員の県内外登録申請及び県外よりの登録申請の取りまとめを行なった。県外からの狩猟者は、1,319 名、県内居住者は 2,542 名、合計 3,861 名であった。

(十四) 放鳥及び標識類設置事業

群馬県の委託を受け猟期前にキジ 120 日令、ヤマドリ 120 日令、猟期後に成長キジを放鳥し、及び鳥獣保護区、休猟区等で制札及びビニール標識等の設置・撤去事業を行なった。

(十五) 射撃場運営事業

群馬県より指定管理者の指定を受けた群馬県クレ射撃場の運営を通じて、県民の健全な心身の発達並びに銃器使用者の銃器の正しい取扱技術の習得及び射撃技術の向上をはかると共に、これから猟銃等を所持しようとする者の初心者講習、平成 22 年度から開始された銃刀法改正に伴う 3 年ごとの銃所持許可更新申請時の技能講習及び狩猟者の実技研修を実施したほか、地域住民の意見・要望にも配慮し近隣住民との融和と施設への理解と平成 22 年度からクレ料金の値下げ等サービスの向上に努め、健全経営を行なっている。また近隣住民に異論があるため、6 月 13 日に騒音調査を実施し、今後役に立てることとした。

射撃場利用状況

利用者数	内県外利用者数(%)	クレ使用数	ラビットクレ使用数	合 計
7,005 名	1,933 名(27.6%)	664,102 枚	9,669 枚	673,771 枚

射撃教習実施状況	平成 22 年度	初心者講習	8 回	11 名
		技能講習	5 回	13 名

(十六) アマチュア無線技士養成事業

県内各市町村に災害が発生し一般電話・携帯電話が不通になった場合に、県市町村・警察・消防と34地区猟友会が協力体制をとれるよう緊急対策連絡網の整備を行い地域社会に貢献するため、アマチュア無線開局者及び未開局者の調査を行い、未開局者を対象に開局申請手続き説明会を開催した。

名 称 アマチュア無線開局申請説明会

受 講 者 平成22年8月 1日 群馬県公社ビル5階第1会議室

第1回 午前10時 12名

第2回 午後1時 6名

第3回 午後3時 12名 計30名

平成22年8月18日 利根沼田県民局庁舎1階101会議室

第1回 午前10時 13名

第2回 午後1時 3名 計16名

合計46名